

わたしたちの体をつくる食べ物



めあて

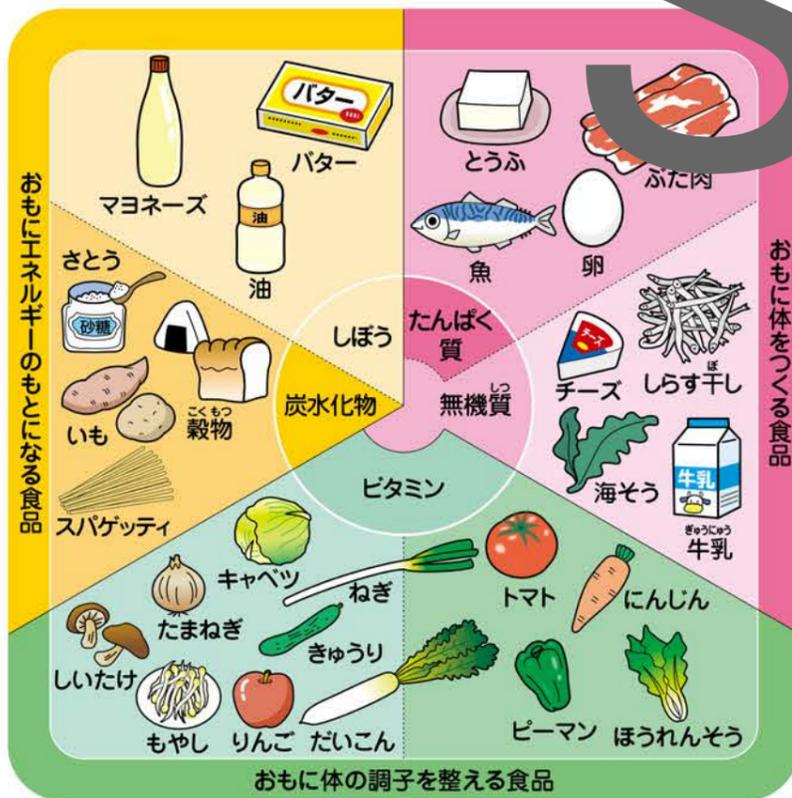
体をつくる食べ物のはたらきを調べよう。

1 食べ物のはたらき

わたしたちの体は、毎日の食べ物によってつくられています。生命を保ち、活動、成長するために必要な成分を栄養素といい、わたしたちは、食べ物からこれらの栄養素を体にとりいれています。

すべての栄養素をふくんでいる食べ物はないので、いろいろな食べ物を組み合わせて、一度の食事で3つのはたらきのグループすべての食べ物をバランスよく食べるようにしましょう。

6つの食品群の3つのはたらき



- ・5つの栄養素(炭水化物、しぼう、たんぱく質、無機質、ビタミン)は、たがいに作用しあってはたらくことができます。
- ・海そうは「おもに体の調子を整える食品」に分類することもあります。
- ・中央の円の中は、それぞれの食品にふくまれるおもな栄養素を表します。

2 一汁三菜でバランスよく

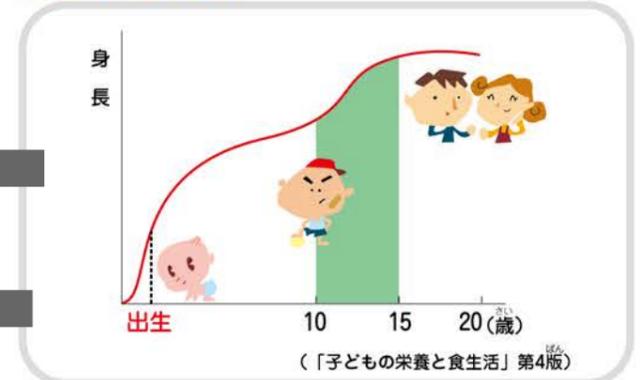
食べ物は、主食、主菜、副菜、副々菜と汁物の「一汁三菜」で組み合わせると栄養素がバランスよく整います。

「主食」はおもに黄色のグループから、「主菜」はおもに赤のグループから、「副菜」と「副々菜」はおもに緑のグループの野菜やきのこを使ったおかずです。みそ汁やスープなどの「汁物」には、主菜、副菜、副々菜でとりきれなかったものを入れるとよいでしょう。

また、食後のデザートや飲み物などに牛乳・乳製品、果物をとると、栄養のバランスがよくなります。



●身長発育速度



3 今は、もっとも大切な成長期！

小学校高学年から中学生のころは体の成長がさかんな時期で、一生のうちでもっとも成長が速い時期です。この時期は、栄養を必要とします。わたしたちの体は1日に必要なエネルギーと栄養素を食事からとれば、自分の「エネルギー摂取基準」に示れているとおり、十分に栄養をとることができます。

好ききらいで偏食したり、食べる量が少ないと、栄養素が不足すると、やせたり身長がのびが悪くなったりします。また、食事やお菓子を食べすぎてエネルギーがかじょうになると、肥満になって、健康によくありません。バランスのよい食生活で適量の栄養をとることが大切です。*栄養にかたよりのある食べ方のこと。

成長期は、たんぱく質やカルシウムなど、たくさんの栄養素が必要なんだね。



●年齢別エネルギー・たんぱく質・カルシウムの食事摂取基準

年齢	エネルギー (kcal)		たんぱく質 (g)		カルシウム (mg)	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1~2歳	950	900	20	20	450	400
3~5歳	1300	1250	25	25	600	550
6~7歳	1550	1450	35	30	600	550
8~9歳	1850	1700	40	40	650	750
10~11歳	2250	2100	50	50	700	750
12~14歳	2600	2400	60	55	1000	800
15~17歳	2850	2300	65	55	800	650
18~29歳	2650	1950	60	50	800	650
30~49歳	2650	2000	60	50	650	650

日本人の食事摂取基準 2015年版から抜粋

やってみよう
調べてみよう

- ▶ 昨日の夕食を、3つのはたらきのグループに分けてみよう。
- ▶ 今日の給食の主食、主菜、副菜は何か調べてみよう。